

軽井沢町長 藤巻 進 様  
軽井沢町観光経済課長 中山 茂 様

馬取山田地区ほ場整備事業計画地の一部に軽井沢の原風景、  
湿地生態系を遺してください！

私たちは、計画地の一部を環境配慮型農業のシンボルとして、ビオトープとして  
遺してほしいと願っております。

農水省「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き（第3編）  
『ほ場整備（水田・畑）』」にも、「事業による環境への影響を極力小さくする。  
あるいは損なわれた環境を回復するために、適切に環境配慮対策を行う」と明記されています。

この計画地の南端部には、東京農業大学宮本太研究室の2022年の調査で、アサマフウロが約700  
株生育しており、町内随一の大規模な群落であることがわかりました。

ヒメマツカサススキも確認されました。この植物は、長野県と山梨県のごく限られた場所にしか  
生育していない植物です。

これ以外にも、「軽井沢の原風景」を象徴する絶滅危惧植物が多数発見されていること  
が長野県植物研究会の調査で判明しました。

保全された暁には、軽井沢町植物園のご指導の下、町民・別荘民が協力して管理作業を  
担い、「軽井沢町の自然環境共生の観光資源」として誇りとなりうると思います。

名前	住所（都道府県名から。「同上」は使わないでください。）

【呼びかけ団体】 軽井沢サクラソウ会議

ホームページ：<http://www.sakuraso.org/>

メールアドレス：[info@sakuraso.org](mailto:info@sakuraso.org)

電話：090-4025-6729

（記載された個人情報は、署名提出以外に使用しません。）